

PG2-03 意思決定支援上の情報収集と記録化

【担当】

筑波大学人間系障害科学域 講師／

一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク 代表理事

名川 勝

PG2-03 意思決定支援上の 情報収集と記録化

— 本人の価値観を尊重し、
支援者の気づきを高める —

専門コース別研修(意思決定支援)

なぜ情報収集と記録をするか

2

- 一般的には、（本人ならびに支援環境とその相互作用の）評価を行い、組織内・組織外との連携を図る根拠資料とする。その意味で、支援付き意思決定であれ、代理代行決定であれ、情報収集と記録は重要な活動。
- 独り善がりではない、プロセスを重視した支援を行うためにも有用。
- 成年後見の職務における「本人情報シート」活用
- ただし、ここでは特に、「意思と選好に基づく最善の解釈」を行うために必要な選好情報に焦点を当てる。

選好を重視した情報の収集・共有・蓄積・更新の例 Scope Australiaの方法

3

「意思決定支援を使いながら生活する人々
“微かに聞こえる声を聴く”」

People leading lives they prefer
through supported decision making
“Listening to those rarely heard”

Scope (Watson &
Joseph) 2011



非意図的なメッセ-
ジ（情報）を含む

(写真は日本の方にご許可を
いただいて掲載しています)



意思決定支援の枠組み

Scope (Watson & Joseph) 2011



Scope Australia (Watson & Joseph)による 意思決定支援の枠組み

5

- ともに決定事項を定める
 - ▣ すべき決定事項があるか、それは何か
 - ▣ 誰にとって重要な決定か、なぜか
- ともに声を聴く；情報収集する
 - ▣ 意思と選好を丁寧に収集する
 - ▣ 密度の濃いやり取りを重ねて情報を集める
 - ▣ 本人をよく知る人の声も聞く
- ともに決定のための選択肢を探す
 - ▣ 本人の選好を参考に、考えられる選択肢を複数あげる
- ともに各選択肢に対する本人の反応を記録する
 - ▣ 各選択肢を試す、場所へ行く、本人の反応を記録し、複数名で検討する
 - ▣ 決定の事後についても記録していくことが重要
- ともに決定し行動する
 - ▣ 本人のために(for～)ではなく、本人にとって(to～)何が大切なのかを考える

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

6

- みんなで選好の**収集**を続ける。非意図的なメッセージや行動もよく観察し、発生や繰り返しの頻度、反応などを勘案。
- 得られた情報を**共有**、協議して、独り善がりの判断を回避する。また多くの支援者がその選好に気づけるようにし、感度を高める。
- 絶えず**蓄積**し、整理する。
- 選好は変わり続けるので、以前と異なることが共有されたら**更新**する。

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

7

- 「最善の解釈」を行うための基礎資料を集める
- 「意思決定支援」のプロセスを共有・確立し、独りよがりの「解釈」を排する
- 本人意思に対する、支援者の気づき(感度)を高める
- 本人の持つ「価値観」への気づきと尊重を高める
 - ▣ 価値観の尊重はソーシャルワークの基盤であり、価値観は選好を反映し形成される。

いつ、どのように行うか？

8

- 主として、「エンパワメントの相」で継続的に行われる
 - ▣ 「レスキューの相」でも活用される
- 打ち合わせなどの機会を利用して、また日報などの活用
 - ▣ 「選好」に関わる活動や発言があったか？
- 具体的に、明確に、客観と主観を整理して
- 安全性（リスク）と幸せ（幸福度、ハピネス）の観点から総合的に判断する。

グループワーク①

9

「～さんの好きなこと・嫌いなこと」（資料 a 使用）

- 1 人の人を思い浮かべる（家族、友人など）
 - よく知っている人が望ましい、或いは自分自身でも
- その人の好きなこと（もの）や、嫌いなこと（もの）を、それぞれ3つあげてみましょう。案外難しい？
- あげた中で、最も好きなことは何だろう？最も嫌いなことはなんだろう？
- 利用者さんについても同じように考えてみましょう

グループワーク②

10

「選好」→好き・嫌いの拾い出しと記録化のための表現
（資料 b、c 使用）

- Sさんのプロフィールと、生活介護事業所での記録（抜粋）まだ好き・嫌い（選好）を記録して共有していくには記述が不十分
- 記録化のためにはどのように書けばよいか？
- Sさんにはどのような好き嫌い（選好）が見られるか？

～さんの好きなこと、嫌いなこと

選好（preferences、好き嫌い）は、好きな食べ物や芸能人だけでなく、食べ方、場所、散歩ルート、におい、味、音、音楽、しぐさ、ことば、支援者、刺激、ほめられ方、温度、家族、住まい、旅行、店に入ったときにすること、などいろいろあります。また、嫌いなこともたくさんありますが、上手く見つけられないこともあります。

【 身近な人の好きと嫌いをあげてみましょう 】

■ _____さんについて

好きなもの・好きなこと

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

嫌いなもの・嫌いなこと

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

■ _____さんについて

好きなもの・好きなこと

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

嫌いなもの・嫌いなこと

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

S さんのプロフィール

氏名：S さん	年齢：21 歳	性別： 男性
障害支援区分：4	障害：知的障害・自閉スペクトラム症	
利用経緯と支援経過 特別支援学校高等部在学中に A 生活介護事業所を体験利用し、高等部卒業後利用を開始した。20 歳までは両親と弟と生活していたが、保護者の意向もあり共同生活援助（グループホーム）の利用をはじめた。生活介護事業所の休日は移動支援を利用して外出をしている。		
ADL・IADL ADL については概ね自立しているが、洗髪・洗身は背中側に洗い残しがあるため、言葉かけと見守りをしている。家事についてはグループホームに移行して世話人とともに洗濯・洗濯干しを練習中である。金銭管理は週に 1 度生活費として世話人が渡している。買物についてはいつも利用している店の場合は支援者の介入がなくとも買い物ができるが、そうでない場合は支援要求がある。		
コミュニケーション 集団活動は苦手なで、自分からコミュニケーションをとることは少ないが、自分の話したいことについては一方的に話し続けることもある。何度も経験したことのある支援要求は言葉で表出できることもあるが、場所や相手等が変わると難しいことも多い。		

Sさんの記録（抜粋、括弧内は記録者）

日付	記 録	選好の抽出と、記述の検討
4月10日	ビンゴ大会でビンゴしたが景品を全く欲しがらずでした。Tシャツがあり、出品した方が説明して下さり、そのTシャツを気に入りgetできました。（斉川）	そのTシャツを気に入りgetできました。「これ好き」と言っていました。白地に**（キャラクター）のプリント柄でした。**が好きだったのかもしれませんが。今度話題にしてみようと思います。（斉川）
4月11日	午前、午後共に眠気に見舞われていました。食事の進み具合もあまり順調ではなく、食欲が無い様子でした。お茶タイムのコーヒーは好んで飲んでいました。（江島）	お茶タイムは紅茶、日本茶、コーヒーの中から、自分でコーヒーを選んで平井に淹れてもらっていました。おかわりもコーヒーでした。好きなようですが、眠気覚ましと思っていたのかもしれませんが。（江島）
6月3日	チョコ作りの班になり話し合いを始めたのですが、誕生日が近いから食べたい!!と希望。作りたいより食べたいかなと感じました。（田中）	
6月14日	チョコ作りを楽しみにして自宅より、クッキーの型を持って来て下さいました。（江島）	
7月2日	研修のPさんとゴジラの話やお父さんお母さんの話を夢中になってしていました。（戸田）	
7月31日	班で***（お寿司屋さん）へ行き、帰り際に「次いつお寿司行きますか」と言っていました。楽しかったのだと思います。（江島）	
8月10日	歯磨きのときハミガキ粉をつけていなかったの「つけませんか」と聞いたら、嫌みたいでした。（田中）	
9月9日	ラジオを付けたり消したりしばらくやっていました。アーティストへのこだわりなのかなーと思ったのだけど、ちょっと聞いてみればよかった。（田中）	
10月4日	午前K（事業所）ニュースを折る作業を2人でやっていたので、いい感じの雰囲気にもえました。（小川）	
11月5日	お弁当だいたい残さず食べるのですが、ニンジンが苦手なようです。（佐藤）	
12月20日	クリスマス会中とても集中して参加出来ていました。不穏な様子もなく楽しそうにしていたのでよかったと思いました。（斉川）	